

# 視察報告書

令和5年5月2日

倉吉市議会議長 様

倉吉市議会  
(代表) 議員 大月 悦子

政務活動費により行政視察を実施しましたので、次のとおり報告します。

## 記

1 視察期間 令和5年4月27日(木)から令和5年4月28日(金)まで

2 視察先 全国市町村国際文化研修所(JIAM)

3 視察議員名 大月 悦子

4 面会者 研修講師 別紙

5 視察目的「防災と議員の役割」

倉吉市議会は議会改革推進特別委員会へ付託し、議会BCPを作成いたしました。議員として具体的に、災害発生時に備え、平時から防災の心構えや地域での連携の必要性を学び、現在の防災対策に関連する課題や、議会議員の果たす役割を学ぶ

6 視察の経過及び感想

新型コロナ感染症拡大が収束傾向にあり、久しぶりの県外研修に臨む。募集人数60名の予定が72名の参加者でした。

日程の詳細は別紙添付

4月27日(木) 13:00~17:00

講義：災害リスク低減に果たす議会の役割 講師：林 春男 京都大学 名誉教授

要旨：1) 今までに起きている自然災害についての傾向について詳細な分析

2) 災害に対するレジリエンス(災害を乗り越える力の向上)を考える3要素

①3つの主体(個人・コミュニティー・国家) ②ハザードの強度とレジリエンス能力の関数 ③ハザードに対して、主体は3種類の異なるふるまい

3) レジリエンスの向上方策 予防力・予測力・対応力

講義と演習 平時の防災と議員の役割 講師：鍵屋 一 跡見学園女子大学教授

命を守る防災のコツ⇒早く逃げる、自分だけでは逃げられない人は?

の視点で過去の震災を分析し、現代の課題を提起された。

印象に残った言葉

正常化の偏見「自分は大丈夫!」自分にとって都合の悪い情報を無視した

り、過小評価してしまう人間の特性」

演習：平時の防災～ワークショップ～ 手法：ワールド・カフェ

岩手県大槌町の防災対応～平野総務部長（現町長）に聞く～レポート

を読み、大災害後、行政は何をする？行政職員はどうなる？平時に何をしておくべきか？

課題・教訓・知恵を5つ以上ポストイットに簡単に記入して

「大災害時に行政が効果的な対応をするために・・・平時にすべきことを話し合った（写真1・2）

4月28日（金）9：00～14：45

講演①：災害時における村上市議会の対応と取組（令和4年8月豪雨災害）

講師：三田敏秋 新潟県村上市議会議長

要旨：過去にも昭和42年8月に記録的な集中豪雨が襲い104名の死者を出した「羽越水害」の55年後再び甚大な災害が発生。

今回は死亡0名、重傷1名、建物全壊6、大規模半壊3、半壊3（36世帯113人）

① 平常時に市の防災訓練と並行した議会の防災訓練を行っている。

② 村上市議会災害対策支援本部設置要綱を議運が中心に策定している  
東日本大震災の状況視察を行い、翌年まとめる

※組織と議員の対応が示されている。

執行部の負担軽減のため、収集した情報は緊急の場合を除き、支援本部に提出

③ 発災後に政策提言を行った。

※災害見舞金の検討

議会費の有効活用について

常任委員会の活動に必要な執行を取りやめ、それを災害関係費用に充てられるように取り図られたい。自動車購入費に

（議員が被災者に寄り添いたいという気持ちが強かった）

④ 発災後に意見書の発議

※防災・減災、国土強靱化対策の継続及び充実を求める意見書

まとめ：発災直後は災害対策本部も情報が錯綜し、混乱しているため議員個人からの直接連絡は避ける。

議員からの要望は、議会内で集約調整の上伝達する

災害を最小限にするために、市民に届くまで公助は時間を要するので、大変ではあるが、日ごろから個別計画を作成しておく自助も大切。

講義と演習：

講義災害時の議会・議員活動～まとめと展望～講師 鍵屋 一先生

要旨：災害時の議会・議員の役割

① 住民の命と尊厳を守る（余力があれば財産も）議会・議員だけではできない

↓

市町村当局と協働し、国、都道府県、防災関係機関、国民に働きかける

② 「じゃまをしない」を超えて

活動ルール（議長への情報一元化）、活動の道具（情報、場所、機会）

積極的な情報提供（行政、市民へ）積極的な地域活動

「議会BCP」で効果的な対応を！

③ 関心を持ったスライドから

・応急対策期の議員心得

議員は影響力が大きく、議員による行政批判もマスコミ同様に行政と住民を分断する。行政と議会と議員は平時と異なり、一体となり、力を合わせ、同じ方向性で応急対策期を乗り越える。

・議会BCP策定の順序 魂を入れる（心・対話で仲間づくり。魂の入らない計画はただの紙）、仏をつくる（形、計画、モノの確保）仏を磨く（継続。訓練・見直し）

・議会こそ、平時から危機管理を！

三不忘（治まりて乱を忘れず・安くして危を忘れず、存して亡を忘れず）

演習：災害時の議会・議員活動～ワークショップ 手法：ワールド・カフェ

東日本大震災での宮城県東松島市議会議員の行動 レポートを読み

大災害時に議会、議員が効果的な対応するために、気づいたこと、発見したことなど  
ポストイットに記入してグループでアイデアを共有・発展させる。

（写真3・4）

最後に、この2日間はとても充実したものになりました。

目標にしていた議会、議員のとるべき行動についての理解が深まりました。参加者の多くの団体はすでにBCPを策定している中で、問題意識をもって参加されていたので、ワークショップで作成が目的ではなく役に立つために何度もデモンストレーションを繰り返すなどして身に着けることが大切だということを身に染みて感じました。

この研修に参加させていただき感謝するとともに、災害時に命を守る行動ができるようにいたします。

#### 7 添付書類

- (1) 令和5年度市町村議会議員研修「2日間コース」第一回「防災と議員の役割」時間割
- (2) 写真 (1から4) 4枚
- (3) 領収書 参加費、旅費

要した経費： 1 人合計 37,120円

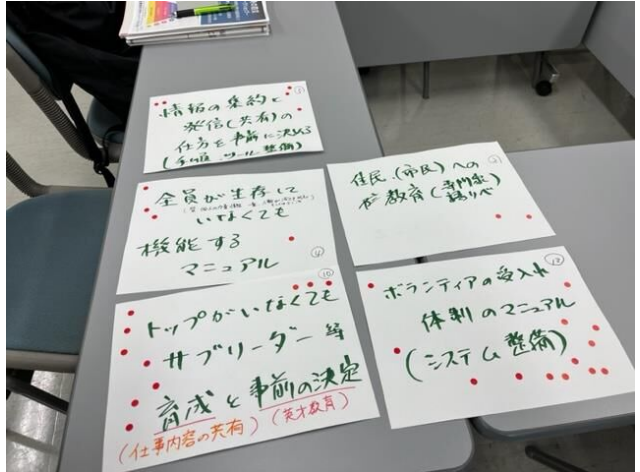


写真 1 2 平時の防災

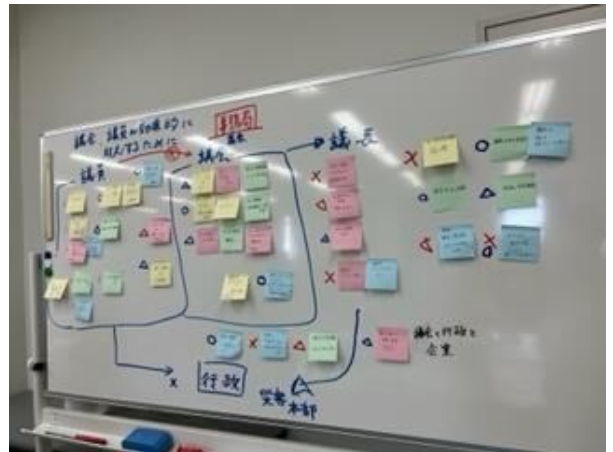


写真3 4 災害時の議会、議員活動